

問1 安土桃山時代にキリスト教の布教とともに盛んになった、日本とヨーロッパ諸国との貿易を何という？

1. 朝貢貿易 2. 南蛮貿易 3. 三角貿易 4. 朱印船貿易

問2 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？

1. 封建制度 2. 人間性 3. 絶対王政 4. 神中心主義

問3 1519年に世界一周の航海に出発した人物は誰？

1. マゼラン 2. バスコ・ダ・ガマ 3. ディアス 4. コロンブス

問4 桃山文化を代表する建築物で、その白く美しい外観から「白鷺城」とも呼ばれる城は？

1. 安土城 2. 姫路城 3. 熊本城 4. 大坂城

問5 室町時代末期、種子島にポルトガル人によって伝来し、日本の戦術を大きく変えた兵器を何という？

1. 刀 2. 弓矢 3. 槍 4. 鉄砲

問6 朝鮮出兵の際、日本に連れてこられ、九州地方を中心に有田焼などの優れた焼き物作りを始めた人々を何という？

1. 陶工 2. 茶人 3. 彫刻家 4. 絵師

問7 インドへの航路開拓を目指し、アフリカ大陸南端の地を拠点とした国はどこ？

1. オランダ 2. ポルトガル 3. イギリス 4. スペイン

問8 鉄砲がポルトガル人によって日本に伝えられた時期はいつ？

1. 16世紀半ば 2. 17世紀半ば 3. 15世紀初め 4. 16世紀終わり

問9 ヨーロッパ諸国が新しい航路を切り開き、海外進出が活発になった時代を何という？

1. 大航海時代 2. 宗教改革 3. 産業革命 4. 市民革命

問10 安土桃山時代、豊臣秀吉が行った刀狩は、農民によるどのような行動を防止することを主な目的としていた？

1. 戦争 2. 合戦 3. 一揆 4. 暴動

問11 16世紀のドイツで、カトリック教会が販売していた、罪が許されるとい証書を何という？

1. 贖宥状 2. 免罪符 3. 異端審問 4. 聖職売買

問12 天正遣欧使節をローマ教皇のもとへ派遣した、キリスト教を保護した大名を総称して何という？

1. 幕藩領主 2. キリシタン大名 3. 守護大名 4. 戦国大名

問13 天下統一後、大陸の「明」を征服するために二度にわたって朝鮮半島へ軍を派遣した人物は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川家康 3. 豊臣秀吉 4. 織田信長

問14 城郭の内部の壁や襖（ふすま）を飾るために制作された、金箔を多用した豪華な絵画を何という？

1. 障壁画 2. 絵巻物 3. 浮世絵 4. 水墨画

問15 歴史的な価値が認められ、国際的に保護の対象として登録された場所を総称して何という？

1. 国宝 2. 重要文化財 3. 史跡 4. 世界遺産

問16 1492年にスペインの支援を受けて大西洋を横断し、現在のカリブ海諸島に到達した航海者は誰？

1. ディアス 2. マゼラン 3. コロンブス 4. バスコ・ダ・ガマ

答え合わせ・解説

問1	答え 2 南蛮貿易	南蛮貿易は、おもにポルトガル人やスペイン人との間で行われました。日本からは銀や工芸品が輸出され、日本には鉄砲（火縄銃）やキリスト教、活版印刷機、タバコなどがもたらされました。当時の武将たちは、新しい軍事技術である鉄砲の入手に非常に意欲的でした。
問2	答え 2 人間性	ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。
問3	答え 1 マゼラン	マゼランは5隻の船団を率いてスペインを出港しました。南アメリカ大陸南端の海峡を抜けて太平洋を横断するという過酷な航海でしたが、彼の船団は世界で初めて地球を一周しました。なお、マゼラン自身はフィリピンでの争いで命を落としたため、帰還したのは部下のエルカーノらわずか1隻の船でした。
問4	答え 2 姫路城	姫路城は、桃山文化特有の豪華で壮大な建築様式を今に伝える代表的な城郭です。高度な防御機能と美しいデザインが融合しており、当時の高い建築技術を現代に示しています。
問5	答え 4 鉄砲	鉄砲は、それまでの弓矢や接近戦主体の戦い方とは異なり、訓練次第で誰でも強力な威力を発揮できる画期的な武器でした。日本国内ですぐに模倣生産が始まり、爆発的に普及しました。
問6	答え 1 陶工	特に九州の大名たちは彼らを保護し、磁器の原料となる陶石を探させました。その結果、佐賀県の有田などで磁器の生産が始まり、後の有田焼や伊万里焼といった世界的に有名な日本の陶磁器ブランドの基礎が築かれました。
問7	答え 2 ポルトガル	ポルトガルは国家事業としてアフリカ西岸の探検を支援し、インドへ直接向かうルートを模索しました。その結果、アフリカ南端の喜望峰を経由してインドへ至る航路が発見され、ポルトガルはアジア貿易の覇権を握ることになりました。
問8	答え 1 16世紀半ば	1543年、種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲がもたらされました。これは「16世紀半ば」の出来事として日本史の大きな転換点となりました。当時、火薬の原料である硝石などは自国で十分な量を確保できなかったため、南蛮貿易を通じて輸入することが極めて重要でした。
問9	答え 1 大航海時代	羅針盤の改良や造船技術の向上を背景に、ポルトガルやスペインの船乗りたちが喜望峰経由や西回り航路を開拓しました。これにより、遠く離れた地域間での直接貿易が可能になり、キリスト教の布教も世界規模で拡大しました。
問10	答え 3 一揆	豊臣秀吉が実施した刀狩は、農民から武器を取り上げることで、こうした一揆の発生を未然に防ぐことを主な狙いとしていました。また、没収された武器は、大仏建立の釘として再利用されるなどと称されました。
問11	答え 2 免罪符	ドイツのルターは、信仰の救いは神の慈悲によるものであり、金銭で罪が許されるとする教会のあり方を強く批判しました。この免罪符への疑問が宗教改革の直接のきっかけとなりました。
問12	答え 2 キリシタン大名	キリシタン大名は、キリスト教を受け入れ、宣教師を保護した大名たちです。代表的な人物である大友宗麟らは、ローマに使節団（天正遣欧使節）を送り、ヨーロッパの進んだ文化を日本に伝えようとしていました。自らの領地でキリスト教会の建設を援助することもありました。
問13	答え 3 豊臣秀吉	豊臣秀吉は、日本の武士たちの力を外に向けさせるとともに、東アジアの覇権を握るために「明」の征服を計画しました。この目的のために、まず朝鮮王朝に対して服属と進軍への協力を求めましたが、朝鮮がこれを拒否したため、軍を派遣して戦争となりました。
問14	答え 1 障壁画	障壁画は、襖や壁に描かれるため空間と一体化しており、当時の豪華な建築に欠かせない存在でした。金箔を多用して光を反射させることで、薄暗い部屋を明るくし、権力者の威厳を際立たせる効果がありました。代表例として狩野永徳の作品などが有名です。
問15	答え 4 世界遺産	世界遺産には、建造物や史跡などの「文化遺産」と、自然環境を守る「自然遺産」があります。ユネスコがその選定を行い、該当する場所は世界中で共同管理されます。石見銀山のように、かつての産業遺構が人類の歴史を示す重要な場所として指定されることもあります。
問16	答え 3 コロンブス	コロンブスは地球が丸いという考えに基づき、西回りで大西洋を渡ればインドにたどり着けると主張しました。スペインの女王の支援を得て航海に出た彼は、1492年に現在のカリブ海諸島に到達しました。彼は最期までそこをインドの一部だと信じていたといわれています。